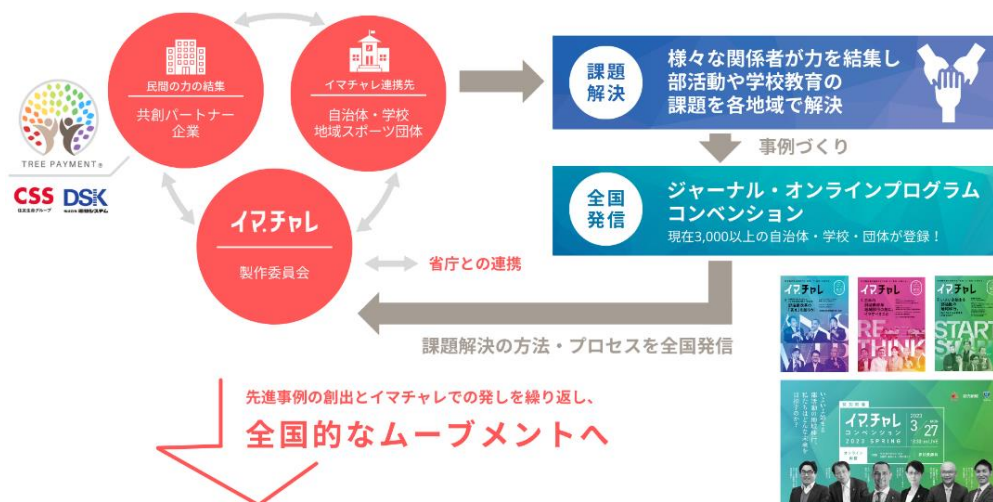


2023年7月19日
イマチャレ製作委員会
株式会社シーエスエス
株式会社電算システム

学校スポーツ改革の情報プラットフォーム「イマチャレ」の共創パートナーに、
株式会社シーエスエスと株式会社電算システムが参画
～部活動における決済の課題を、TREE PAYMENT で解決～

部活動をはじめとして、学校スポーツ改革の課題解決を推進している「イマチャレ製作委員会」(主管企業・団体：EDUSHIP 株式会社、筑波大学体育スポーツ局、読売新聞東京本社)は、新たな共創パートナーとして、住友生命保険相互会社の100%子会社である株式会社シーエスエス(代表取締役社長 小阪 博司、以下「CSS」)、および株式会社電算システム(代表取締役社長執行役員 高橋 譲太、以下「電算システム」)の2社と提携を行います。

CSS と電算システムが共同で提供している決済サービス「TREE PAYMENT (ツリーペイメント)」を通じて、今後、お金に関する、部活動や学校教育の諸課題の解決に、取り組んでまいります。



【参画の背景】

公立中学校の部活動を地域に移管する「地域移行」の議題は、2023年度より国が段階的な取り組みを促す3年間の「改革推進期間」に入りました。

部活動の地域移行には、指導者や、財源の確保、時間や大会の見直しなど、さまざまな課題があります。

その1つに「スポーツ活動の有料化」があります。これまでの部活動は先生方の活動の一環として、無償で行われておりましたが、今後は、地域クラブへの移行はもちろんのこと、先生方が指導をするケースであっても、有料化の方向が示唆されています。それに伴い、保護者からの集金や、指導者への謝金の支払い、未収金

の回収や返金等、お金の円滑な取扱いに関するさまざまな課題も生じてまいります。

そこで、部活動改革や学校現場でのお金の取り扱いにおいて、外部の専門的なサポートも加わるべきとして、決済課題解決に向けた共創パートナーとして、CSS および電算システムとの連携を開始することを決定いたしました。

【今後の展開】

まずは、イマチャレと連携している自治体・学校・地域事業者を中心に、部活動改革や学校現場でのお金の取り扱いの課題に関するヒアリングからスタートし、全国における部活動改革の実践者に向けて、最適な決済ソリューションの企画・提案を目指します。あわせて「集金袋」をなくし、決済手段の多様化も目指します。

全国に先駆け、イマチャレ連携の自治体・学校・地域事業者と決済での課題解決を推進してまいります。第2弾にてプレスリリース予定です。

【各社のコメント】

<イマチャレ製作委員会（イマチャレ製作委員長 佐藤壮二郎）>

この度、これからの学校スポーツの課題解決にまた新たな専門的、且つ共創型のパートナー様にご参画を賜りましたこと、大変心強く思っております。ご関係者様に重ねて感謝と御礼を申し上げます。

深刻な先生方の働き方の問題や、これからの子どもたちの地域に合った多様なスポーツ活動の確立など、この数年でより進んでいく部活動の見直しの議題においては、お金の議題が必ずセットで出て参ります。

これまで学校関係者の過度な負担や教育貢献への強い意志に支えられてきたことに感謝すると共に、これからはより継続性のある新しい仕組みを社会全体で議論し、実践していく必要があります。その際にお金に関しても、最新の決済や資金の取り扱いのノウハウが初期から共有されていくことは、行政・学校・地域クラブの皆様にとっても大きな助けになるものと確信しております。本パートナーシップがこれからの教育活動やスポーツ活動において「新たな可能性の発見」になればこの上なく幸いです。

<株式会社シーエスエス（代表取締役社長 小阪 博司）>

「部活動をはじめとした学校スポーツ改革の課題解決」に共感し、共創パートナーとして参画させていただくことを決定致しました。

私たちは、部活動や学校教育における「お金」についての課題解決にお役立ちできるよう、安全、便利な対価収納支払サービスを最新の価値を添えて提供してまいりたいと存じます。

そのことを通じて、イマチャレが目指す、子どもたちの未来を明るくし、ひとりひとりの個性を尊重した、笑顔の絶えない教育現場づくりに、わずかながらでも貢献できれば幸甚でございます。

<株式会社電算システム（代表取締役社長執行役員 高橋 譲太）>

電算システムは、「共創」により新たな価値を創造し、社会に貢献することを経営理念としてまいりました。

「イマチャレ」への参画は、文字通り「共創」の一環として、社会に貢献できるものと考えております。

電算システムが長年にわたり培ってきた決済サービスにおけるノウハウを活かして、部活動の地域移行をはじめ

めとした学校教育における課題解決に貢献してまいります。



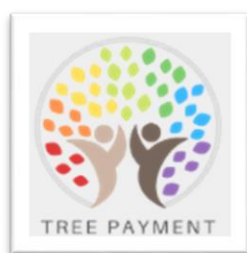
■ 決済サービス「TREE PAYMENT」とは

「TREE PAYMENT」は、CSS および電算システムが共創で開発した「決済サービスプラットフォーム」です。導入される事業者に決済手段を簡単に提供できることに加え、未収金回収や口座振替の不備対応など、今後の自治体・学校・地域スポーツ団体の金銭の取り扱い「集金から返金、謝礼の支払いまで」幅広く決済での現状抱えている課題を解決できる可能性があります。

【TREE PAYMENT の開発コンセプト】

- ・保護者様タイミングで保護者様の希望する手段で簡単決済が可能です。
- ・あわせて、自治体様・学校・地域スポーツ団体様が行っている、決済関連の「手間」も大幅に削減可能です。
- ・「集金から返金、謝礼の支払いまで」幅広く決済での現状抱えている課題を解決し、「集金袋」をなくし決済手段の多様化を目指します。

■ TREE PAYMENTのシンカ



ワンショット入金

- ・利用シーンの拡大
- ・お客様がお好きな方法でお支払い

インターネット口座振替受付サービス

- ・口振登録はネットで完結

新たな決済方法

- ・企業様・お客様のニーズに合わせて決済サービスをチョイス！
- ・新たな決済サービスを自動キャッチアップ

決済の変化に適応

- ・スマホアプリ決済での継続課金スタート
- ・希望する方法での受取り等

- ・コンビニ収納代行サービス
- ・ペーパーレス決済サービス
- ・クレジット決済サービス
- ・スマホアプリ決済 等

※ 「TREE PAYMENT」の詳細についてはこちらをご覧ください。

URL : <https://www.css-osaka.com/service/>

※ 「TREE PAYMENT」は株式会社シーエスエスと株式会社電算システムの登録商標です。

■「イマチャレ」およびイマチャレ製作委員会につきまして

「イマチャレ」とは、次の世代の「学校スポーツ」を創ることを目指し、2021年7月に筑波大学アスレチックデパートメント・読売新聞東京本社・エデュシップ株式会社（学校教材会社）の3団体が一体となり立ち上げた「学校スポーツの課題解決に特化した情報プラットフォーム」のことで、

部活動や体育など「学校スポーツ」の議題と改善例を取り上げており、ジャーナル（情報誌）の定期配布（年3回）や、月1回のオンラインプログラム、そして年2回のコンベンションなど、様々な事例や有識者のインタビューやアンケート、さらにはコンサルティング等を通して、いずれも無償で学校スポーツ改革の実践をサポートしています。2022年度からはスポーツ庁、経済産業省にも後援を頂いています。

※ 「イマチャレ」の詳細についてはこちらをご覧ください。

URL : <https://eduship.co.jp/imachalle/>

■会社概要

株式会社シーエスエス

本社所在地 : 大阪府大阪市中央区備後町3-6-2

主な事業内容 : 収納代行サービス事業

URL : <https://www.css-osaka.com/>



株式会社電算システム

本社所在地 : 岐阜本社

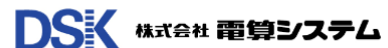
岐阜県岐阜市日置江1丁目58番地

東京本社

東京都中央区八丁堀2丁目20番8号 八丁堀綜通ビル

主な事業内容 : 情報サービス事業、収納代行サービス事業

URL : <https://www.densan-s.co.jp>



以上

<報道関係者様からのお問合せ先>

株式会社電算システム

経営企画室 後藤

電話 : 058-279-3456

E-mail : kikaku@po.densan-s.co.jp

<製品・サービスに関するお問合せ先>

株式会社電算システム

決済ビジネス事業部

電話 : 03-3206-6556

E-mail : ec-tokyo@densan-s.co.jp